

令和 6 年 5 月 24 日現在

機関番号：12601

研究種目：国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(A））

研究期間：2019～2023

課題番号：19KK0374

研究課題名（和文）防犯環境設計を応用した健康まちづくりの計画手法の開発

研究課題名（英文）Development of active planning methodology with application of CPTED

研究代表者

樋野 公宏（Hino, Kimihiro）

東京大学・大学院工学系研究科（工学部）・准教授

研究者番号：30391600

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 10,700,000円

渡航期間： 11ヶ月

研究成果の概要（和文）：当初計画していた海外渡航はコロナ蔓延により延期となった。そこでオンラインツールを活用して、英国、スペイン等の研究者との小学生の徒歩通学に関する研究、英国の研究者との足立区における防犯関連施策に関する研究などを行い、それぞれの成果を国際誌で発表した。最終年度には、英国・ロンドン、マンチェスター、エジンバラで防犯環境設計の実情について警察へのインタビューと事例調査を行った。さらに、豪州・シドニー、メルボルンで健康まちづくりの事例調査を行うとともに、都市計画による健康増進の可能性について国際共著論文を投稿した。調査結果の一部は、基課題の成果である「身体活動を促すまちづくりデザインガイド」に反映した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

非感染性疾患の大きな要因である身体活動不足が蔓延する要因として、土地利用や交通利便性などの都市環境、その方針となる都市・交通計画が挙げられる。本研究では、都市居住者の歩行行動や小学生の徒歩通学の環境要因を探求し、身体活動促進に都市計画が貢献しうる点を自治体や事業者向けのデザインガイドに示した。また、国内自治体の都市計画における身体活動の視点の有無、国内外における防犯環境設計の実態を調査して、都市計画による身体活動促進の可能性と方向性を示した。これらの研究成果は自治体や事業者による健康まちづくりを推進するものであり、三カ国の国際比較研究は都市計画分野の学術発展に寄与するものである。

研究成果の概要（英文）：The planned international travel was postponed due to the spread of COVID-19. Instead, online tools were utilized to conduct research on active school travel with researchers from the UK and Spain, as well as research on crime prevention measures in Adachi Ward, Tokyo, with UK collaborators. The results of these studies were published in international peer-reviewed journals. In the final year (FY2023), interviews with the police and case studies on crime prevention through environmental design (CPTED) were conducted in London, Manchester, and Edinburgh, UK. Additionally, case studies on health-oriented urban development were carried out in Sydney and Melbourne, Australia, and an international co-authored article with Australian researchers on the potential for urban planning documents to enhance health was submitted. Some of the survey results were incorporated into the 'Active Urban Planning & Design Guide,' a key outcome of the root research project.

研究分野：都市計画

キーワード：都市計画 健康の環境要因 ウォーカビリティ デザインガイド

1. 研究開始当初の背景

非感染性疾患 (Noncommunicable diseases; NCDs) により毎年 3800 万人もの人々が死亡している (WHO 2014)。この状況に対して、WHO Global NCD Action Plan は、2025 年までに身体活動不足の蔓延を 10% 抑えることを目標のひとつに掲げた (WHO 2013)。一方、特定の国内においても NCDs の発生割合の高い地域、低い地域が存在するという健康の地理的格差が存在する (近藤, 2012)。その理由の一端は、土地利用、街路の連結性、公共交通、都市施設までの距離など、都市環境の違いにあると考えられる (Knuiman et al., 2013)。

医学誌 Lancet は 388 号 (2016 年 9 月) で "Urban design, transport, and health" という特集を組み、健康づくりにおける都市計画・まちづくりの役割を論じた。例えば、Giles-Corti ら (2016) は、世界に蔓延する肥満や慢性疾患等の NCDs に対して都市・交通計画が影響し得るとし、歩行者や自転車に優しく自動車に依存しないコンパクトなまちづくりの必要性に言及した。ただし、こうした議論はまだ抽象的であり、まちづくりの現場での活用はあまり進んでいない。コンパクトシティ化に向けて都市空間の再構築が目指されるなか、わが国の制度的、社会的状況に合った具体的な健康まちづくりの計画手法が求められる。

公衆衛生分野では疾患を発生するリスクの高い少数の対象に介入する「ハイリスク・アプローチ」と合わせて、多数の集団に介入する「ポピュレーション・アプローチ」の必要性が認識されている。そして、個人の生活習慣改善などを通じた一次予防の前段階において、疾病原因につながる環境的条件を改善する「ゼロ次予防」の手段として、都市計画に期待が集まっている (図 1)。一方の防犯分野では、加害 (被害) リスクの高い個人に介入する従来の刑事司法システムの限界から、環境・状況が犯罪を誘発する要素になっていると考え、それらの要素を除去することを目標とするアプローチが定着している。防犯環境設計はそうしたアプローチの代表格であり、自然監視性の確保、領域性の強化等の原則に基づき、物理的、社会的な環境デザインを通じて防犯性の高い都市、建築の実現を目指す考え方である。

両者とも自治体では都市計画以外の部門が所管するが、政策的関心の高まる時期が早かった防犯は各種基準や都市計画にも取り入れられている。一方、健康の環境要因に関する知識はいまだ医学系に留まり、まちづくりに向けた視点が弱い。健康まちづくりの実践が定着するには、デザインガイド等の作成による関係者の理解促進とともに、防犯分野と同様に分野の異なる専門家の協働が求められる (Kent & Wheeler, 2015)。

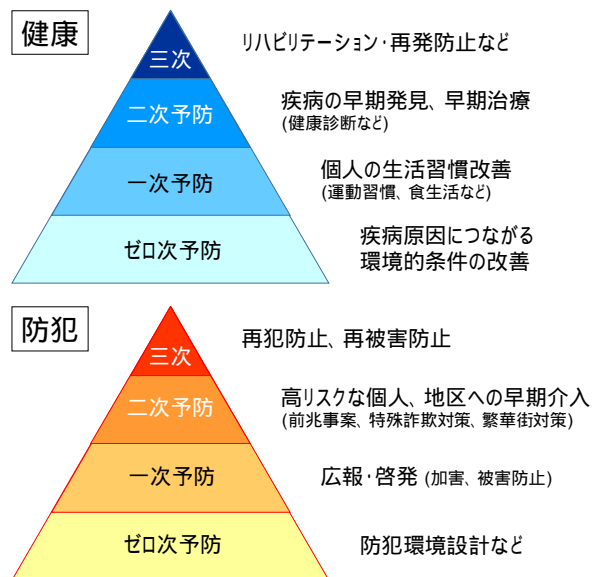


図 1. 健康・防犯分野における「ゼロ次予防」

2. 研究の目的

健康まちづくりの実現および普及には、都市計画・まちづくりに健康や身体活動の促進を位置づけ、事業化する手段とプロセスが示される必要がある。そこで本国際共同研究は、実用面で先行する防犯環境設計を応用して、健康まちづくりの計画手法を開発することを目的とする。

3. 研究の方法

防犯環境設計の実用、身体活動促進要因の研究で先行し、健康まちづくりの事例も豊富な英国および豪州で、以下の方法により防犯および公衆衛生分野の専門家と国際共同研究を進める。

- (1) 防犯環境設計の計画手法の国際比較：日英豪の防犯環境設計の都市計画、まちづくりにおける位置づけについて、各国の自治体や警察へのインタビュー、事例調査、文献調査を行う。
- (2) 健康まちづくり事例の計画プロセスの調査：豪州 Heart Foundation による健康まちづくりの事例集 "Healthy Active by Design" から数事例を選定し、その計画プロセスを調査する。
- (3) 計画的な健康まちづくりの手引き作成：上記(1)(2)の研究成果を踏まえた健康まちづくりの計画手法を、基課題の研究成果のひとつ「身体活動を促すまちづくりデザインガイド」に反映する。

4. 研究成果

当初計画していた2020年度の海外渡航はCOVID-19の影響により延期となったが、オンラインツールを活用して国際的に研究を進めた。2023年4～9月には英国、9～翌3月には豪州に滞在し、ケンブリッジ大学、ノーザンプトン大学（英国）、シドニー大学、ロイヤルメルボルン工科大学（豪州）等の研究者と国際共同研究を行った。

防犯環境設計の計画手法に関する研究

英国の研究者との共同研究で、東京都足立区の11年にわたる防犯環境設計の取り組みを分析し、結果を国際誌にて発表した(Hino & Chronopoulos, 2021)。

英国滞在中には、ロンドン、マンチェスター、エジンバラで防犯環境設計の実情について警察へのインタビューと事例調査を行った。セーフファーストリート事業（第4期）は女性および少女の安全に焦点を置き、マンチェスターのファローフィールド・ループでは、照明やフェンスの設置など従来の防犯環境設計に基づく対策に加えて、コミュニティと学校の協力を得てループの利用を促進するなど、当事者の参加が重視された（図2）。研究結果は日本都市計画学会誌で発表し、防犯環境設計の計画手法を健康まちづくりに応用する可能性と方向性を示した。



図2 防犯対策が進められる Fallowfield Loop
(英国・マンチェスター)

歩行行動の促進・阻害要因に関する研究

英国、スペイン等の研究者と協働して、子どものActive school travel (AST：徒歩や自転車による登下校)の実態把握のためのオンライン調査と、オンラインワークショップを行った。調査データから明らかにした徒歩通学の促進・阻害要因を国際誌にて発表した(Hino, Ikeda et al., 2021)。

横浜市民の時系列歩数データを用いた研究では、緊急事態宣言(Hino & Asami, 2021)、季節(Hino et al., 2021)、街路構成(Morita, Hino et al., 2022)、生鮮品へのアクセス(Morioka, Hino et al., 2023)、新駅建設(Morita, Hino et al., 2023)などが歩行行動に与える影響を明らかにした。

健康まちづくりの事例研究

豪州では、シドニー、メルボルンで健康まちづくりの事例研究を行った。シドニーインナーウェストに位置するGreenwayは、ライトレールと運河に沿って走る約5kmの歩行者・自転車道で、自動車依存の軽減とコミュニティの醸成が期待されている（図3）。コミュニティの関与や政治的な影響を受けながら廃線が活用されたプロセスを、Greenwayで活動する2つの地域組織に関与しつつ調査した。

調査結果の一部は、基課題の成果である「身体活動を促すまちづくりデザインガイド」に反映し、身体活動促進に都市計画が貢献しうる点を自治体や事業者に向けて示した。



図3 廃線を活用した歩行者・自転車道 Greenway
(豪州・シドニー)

健康・身体活動を促進する都市計画に関する調査・研究

コンパクトシティ化を進める国内725自治体の都市計画文書について調査し、大規模な自治体ほど身体活動を促す施設を整備しているものの、課題や目標像として健康を掲げる自治体は小規模であってもそうした施設を整備する傾向にあることを明らかにした。分析結果を踏まえ、都市計画による健康増進の可能性について国際セミナーで発表し、国際共著論文を投稿した。

これらの研究成果は自治体や事業者による健康まちづくりを推進するものであり、三カ国の国際比較研究は都市計画分野の学術発展に寄与するものである。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計32件（うち査読付論文 18件 / うち国際共著 8件 / うちオープンアクセス 25件）

| | |
|---|-------------------------------|
| 1. 著者名 Morita Hiroshi, Hino Kimihiro, Yamada Ikuho, Usui Hiroyuki, Nohara Taku, Asami Yasushi | 4. 巻 6 |
| 2. 論文標題 Association between neighborhood living environment and step counts of middle aged and older adults: Focusing on street systems from the perspective of traffic safety | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 JAPAN ARCHITECTURAL REVIEW | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2475-8876.12323 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |
| 1. 著者名 YURI Taizo, HINO Kimihiro, YAMADA Ikuho, MORIOKA Wataru | 4. 巻 88 |
| 2. 論文標題 ASSOCIATION OF RESIDENTS' STEP COUNT WITH NEIGHBORHOOD BUILT ENVIRONMENT AND TRAVEL BEHAVIOR | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ) | 6. 最初と最後の頁 231 ~ 236 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.88.231 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 該当する |
| 1. 著者名 Morita Hiroshi, Hino Kimihiro, Morioka Wataru, Yamada Ikuho | 4. 巻 30 |
| 2. 論文標題 Changes in the residents' step counts before and after a railway improvement project | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Transport & Health | 6. 最初と最後の頁 101608 ~ 101608 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jth.2023.101608 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 該当する |
| 1. 著者名 Hino Kimihiro, Yamazaki Takahiro, Iida Akiko, Harada Kentaro, Yokohari Makoto | 4. 巻 230 |
| 2. 論文標題 Productive urban landscapes contribute to physical activity promotion among Tokyo residents | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Landscape and Urban Planning | 6. 最初と最後の頁 104634 ~ 104634 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.landurbplan.2022.104634 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 樋野 公宏 | 4. 巻 47 |
| 2. 論文標題 歩行を促すまちづくり | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 IATSS Review (国際交通安全学会誌) | 6. 最初と最後の頁 14~21 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24572/iatssreview.47.1_14 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 Hino Kimihiro, Shiozaki Ko, Inoue Shigeru, Kikuchi Hiroyuki, Fukushima Noritoshi, Amagasa Shiho, Hanibuchi Tomoya, Nakaya Tomoki | 4. 巻 21 |
| 2. 論文標題 Association between Composition of Main Transportation Modes and Average Walking Time in Japanese Cities | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Reports of the City Planning Institute of Japan | 6. 最初と最後の頁 286~289 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/reportscpij.21.3_286 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 Yamada Takumi, Takeuchi Moe, Narusawa Takumi, Fukushima Keita, Shiozaki Ko, Takahashi Tetsuya, Fukaya Mai, Morita Hiroshi, Hino Kimihiro | 4. 巻 21 |
| 2. 論文標題 Urban planning policies to promote physical activity in basic municipalities in Japan | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Reports of the City Planning Institute of Japan | 6. 最初と最後の頁 486~491 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/reportscpij.21.4_486 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 Takahashi Tetsuya, Hino Kimihiro | 4. 巻 21 |
| 2. 論文標題 Association between winning incentives and citizens' step counts | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Reports of the City Planning Institute of Japan | 6. 最初と最後の頁 69~70 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/reportscpij.21.1_69 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------------|
| 1. 著者名 Hachisu Kosuke, Amemiya Mamoru, Hino Kimihiro | 4. 巻 57 |
| 2. 論文標題 The Actual Situation of Threat Incidents against Children and Women in Parks and Their Relation to Road Connectivity | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Journal of the City Planning Institute of Japan | 6. 最初と最後の頁 1447 ~ 1452 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.57.1447 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------------|
| 1. 著者名 Hino Kimihiro | 4. 巻 128 |
| 2. 論文標題 Changes in public attitudes toward CCTV installations in residential areas between 2008 and 2019 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Cities | 6. 最初と最後の頁 103810 ~ 103810 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cities.2022.103810 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------------|
| 1. 著者名 Hino Kimihiro, Baba Hiroki, Kim Hongjik, Shimizu Chihiro | 4. 巻 123 |
| 2. 論文標題 Validation of a Japanese walkability index using large-scale step count data of Yokohama citizens | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Cities | 6. 最初と最後の頁 103614 ~ 103614 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cities.2022.103614 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 該当する |

| | |
|---|----------------------|
| 1. 著者名 Hino Kimihiro, Ikeda Erika, Sadahiro Saiko, Inoue Shigeru | 4. 巻 18 |
| 2. 論文標題 Associations of neighborhood built, safety, and social environment with walking to and from school among elementary school-aged children in Chiba, Japan | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 International Journal of Behavioral Nutrition and Physical Activity | 6. 最初と最後の頁 1 ~ 13 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12966-021-01202-y | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 該当する |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Hino Kimihiro, Chronopoulos Themis | 4. 巻 23 |
| 2. 論文標題 A review of crime prevention activities in a Japanese local government area since 2008: Beautiful Windows Movement in Adachi Ward | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Crime Prevention and Community Safety | 6. 最初と最後の頁 341 ~ 357 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1057/s41300-021-00118-w | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 該当する |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 TAKASE Daiju, NAMBU Sekio, HINO Kimihiro, TANAKA Yasushi | 4. 巻 87 |
| 2. 論文標題 ESTIMATING ANXIETY CAUSED BY FEAR OF NIGHTTIME CRIME FROM PHYSICAL ENVIRONMENTAL CHARACTERISTICS | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ) | 6. 最初と最後の頁 329 ~ 336 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.87.329 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 SUGIURA Hiroyuki, HINO Kimihiro, ASAMI Yasushi, YAMADA Ikuho | 4. 巻 87 |
| 2. 論文標題 ASSOCIATION BETWEEN ENVIRONMENTAL FACTORS AND BICYCLE THEFTS AROUND RAILWAY STATIONS | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ) | 6. 最初と最後の頁 123 ~ 132 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.87.123 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 MORITA Hiroshi, HINO Kimihiro, YAMADA Ikuho, USUI Hiroyuki, NOHARA Taku, ASAMI Yasushi | 4. 巻 87 |
| 2. 論文標題 ASSOCIATION BETWEEN NEIGHBORHOOD LIVING ENVIRONMENT AND STEP COUNTS OF MIDDLE-AGED AND OLDER ADULTS | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ) | 6. 最初と最後の頁 133 ~ 139 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.87.133 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------------|
| 1. 著者名 Yamazaki Takahiro, Iida Akiko, Hino Kimihiro, Murayama Akito, Hiroi U, Terada Toru, Koizumi Hideki, Yokohari Makoto | 4. 巻 13 |
| 2. 論文標題 Use of Urban Green Spaces in the Context of Lifestyle Changes during the COVID-19 Pandemic in Tokyo | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Sustainability | 6. 最初と最後の頁 9817 ~ 9817 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su13179817 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------------|
| 1. 著者名 Sekiguchi Tatsuya, Hino Kimihiro | 4. 巻 13 |
| 2. 論文標題 How Mobile Grocery Sales Wagons Can Help Disadvantaged Shoppers in Residential Areas around Central Tokyo: Characteristics of Spatial Distribution of Usage Places and Purchased Items | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Sustainability | 6. 最初と最後の頁 2634 ~ 2634 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su13052634 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 Harada Kentaro, Hino Kimihiro, Iida Akiko, Yamazaki Takahiro, Usui Hiroyuki, Asami Yasushi, Yokohari Makoto | 4. 巻 18 |
| 2. 論文標題 How Does Urban Farming Benefit Participants' Health? A Case Study of Allotments and Experience Farms in Tokyo | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health | 6. 最初と最後の頁 542 ~ 542 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18020542 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 森田洋史、塩崎洗、荻野紗央、深谷麻衣、榊原康己、竹内萌恵、陶山功陽、中川真輝、山岡祐貴、樋野公宏、井上茂 | 4. 巻 20 |
| 2. 論文標題 身体活動推進面から見た立地適正化計画の評価項目の提案 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 都市計画報告集 | 6. 最初と最後の頁 217-220 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 樋野公宏 | 4. 巻 76(3) |
| 2. 論文標題 身体活動を促す都市環境 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 新都市 | 6. 最初と最後の頁 7-10 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|--------------------|
| 1. 著者名 樋野公宏 | 4. 巻 528 |
| 2. 論文標題 地域社会と連携した大型店の防犯対策 防犯性に優れた大規模商業施設のガイドライン」より | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 建築防災 | 6. 最初と最後の頁 9-14 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------------|
| 1. 著者名 Hino Kimihiro, Asami Yasushi | 4. 巻 69 |
| 2. 論文標題 Change in walking steps and association with built environments during the COVID-19 state of emergency: A longitudinal comparison with the first half of 2019 in Yokohama, Japan | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Health & Place | 6. 最初と最後の頁 102544-102544 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.healthplace.2021.102544 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 鈴木直輝・高松未来・貫井玲音・藤松駿・洪義定・宮園侑門・樋野公宏 | 4. 巻 19 |
| 2. 論文標題 COVID-19 による大学生の都市活動・生活様式の変化 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 都市計画報告集 | 6. 最初と最後の頁 45-46 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 該当する |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 樋野公宏 | 4. 巻 69(3) |
| 2. 論文標題 防犯まちづくりピクトグラムで理論と実践をつなぐ | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 都市計画 | 6. 最初と最後の頁 80-81 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 樋野公宏 | 4. 巻 69(11) |
| 2. 論文標題 通学路の安全 - 犯罪から子供を守る地域の目 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 住宅 | 6. 最初と最後の頁 18-24 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 樋野公宏 | 4. 巻 187 |
| 2. 論文標題 住宅地の防犯 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 ベース設計資料 | 6. 最初と最後の頁 42-46 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 樋野公宏・雨宮護・讃井知・Matthew Callender・Iain Britton・Laura Knight | 4. 巻 19 |
| 2. 論文標題 英国の警察関連ボランティアに関する調査報告 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 都市計画報告集 | 6. 最初と最後の頁 299-302 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 該当する |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 齊藤知範・樋野公宏 | 4. 巻 366 |
| 2. 論文標題 都市の安全性とジェンダー | 5. 発行年 2024年 |
| 3. 雑誌名 都市計画 | 6. 最初と最後の頁 54-57 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Huang Yilin, Hino Kimihiro, Asami Yasushi, Usui Hiroyuki, Nakajima Miku | 4. 巻 23 |
| 2. 論文標題 Fear of street crime among Japanese mothers with elementary school children: A questionnaire survey using street montage photographs | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Asian Architecture and Building Engineering | 6. 最初と最後の頁 443 ~ 452 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13467581.2023.2228931 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 該当する |

| | |
|--|---------------------------|
| 1. 著者名 HINO Kimihiro | 4. 巻 88 |
| 2. 論文標題 防犯活動参加意思の規定要因と支援策 | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ) | 6. 最初と最後の頁 2551 ~ 2556 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.88.2551 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Takeuchi Moe, Fukushima Keita, Kinugasa Takuto, Koyama Sakuraka, Nakamura Keita, Narusawa Takumi, Yamada Takumi, Kikuchi Hiroyuki, Inoue Shigeru, Hino Kimihiro | 4. 巻 22 |
| 2. 論文標題 日本の都市計画における身体活動促進 | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Reports of the City Planning Institute of Japan | 6. 最初と最後の頁 312 ~ 316 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/reportscij.22.2_312 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

| |
|--|
| 1. 発表者名 Morioka, Wataru, Mei-Po Kwan, Kimihiro Hino, Ikuho Yamada. |
| 2. 発表標題 Spatial Analysis of Walking with a Focus on Accessibility to Grocery Stores at the Neighborhood Scale |
| 3. 学会等名 American Association of Geographers (国際学会) |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Narushige Shiode, Shino Shiode, Hayato Nishi and Kimihiro Hino |
| 2. 発表標題 Seasons of Crime in London |
| 3. 学会等名 GIS Research UK (国際学会) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 森田洋史、塩崎洸、荻野紗央、深谷麻衣、榊原康己、竹内萌恵、陶山功陽、中川真輝、山岡祐貴、樋野公宏、井上茂 |
| 2. 発表標題 身体活動推進面から見た立地適正化計画の評価項目の提案 |
| 3. 学会等名 日本都市計画学会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 竹内萌恵・福島溪太・衣笠匠斗・小山桜馨・中村圭汰・成澤拓実・山田拓実・菊池宏幸・井上茂・樋野公宏 |
| 2. 発表標題 日本の都市計画における身体活動促進：全国自治体へのアンケート調査より |
| 3. 学会等名 日本都市計画学会 |
| 4. 発表年 2023年 |

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

身体活動を促すまちづくりデザインガイド
<https://hpd.cpms.chiba-u.jp/activeguide/>

6. 研究組織

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|--|-----------------------------------|--|----|
| | 克蘭シー ガーナー (Clancey Garner) | シドニー大学・Sydney Law School・Associate Professor | |
| | モンチュク リアン (Monchuk Leanne) | ハダースフィールド大学・Applied Criminology Centre・Senior Lecturer | |

6. 研究組織（つづき）

| 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|---|--|----|
| ウッドコック ジェームズ (Woodcock James) | ケンブリッジ大学・MRC Epidemiology Unit・Professor | |
| カレンダー マシュー (Callender Matthew) | ノーザンブトン大学・Institute for Public Safety, Crime and Justice・Professor | |
| ロウ メラニー (Lowe Melanie) | ロイヤルメルボルン工科大学・Centre for Urban Research・Vice Chancellor's Senior Research Fellowship | |
| セリン エスター (Cerin Ester) | オーストラリア・カトリック大学・Mary MacKillop Institute for Health Research・Professor | |
| 石井 儀光 (Ishii Norimitsu) (80356021) | 国土技術政策総合研究所・都市研究部・室長 (82115) | |
| 野原 卓 (Nohara Taku) (10361528) | 横浜国立大学・大学院都市イノベーション研究院・准教授 (12701) | |
| 花里 真道 (Hanazato Masamichi) (00608656) | 千葉大学・予防医学センター・准教授 (12501) | |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

| | |
|---|--------------------|
| 国際研究集会 INTERNATIONAL WORKSHOPS ON ACTIVE SCHOOL TRAVEL | 開催年 2020年～2021年 |
|---|--------------------|

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 | | | |
|---------|--------------------------|---------------------------|--------------------------------|------|
| 英国 | University of Cambridge | University of Northampton | University of London | 他1機関 |
| オーストラリア | The University of Sydney | RMIT University | Australian Catholic University | 他1機関 |